

# 4. デジタルアーカイブの取り組み(1)

## 経過 その1

- 1993年～ 附属図書館の古地図・絵図の基礎調査開始（平井研究室）
- 1997年～ 平成9年度学内教育研究特別経費により**大型絵図6点の高精細画像データを作成**（絵図1点のデータ容量 **約300MB相当**）  
→ **当時のPC・画像解析ソフトの能力**
- 1998年～ Gigaviewソフトを用いて**高精細画像データの館内閲覧を開始**／平成10・11年度科学研究費補助金研究成果公開（データベース）で**合計44点の古地図・絵図の高精細画像データを作成**（古地図・絵図1点の**最大容量約2GB**）← **当時はまだDVD・外付けHDが開発途上（画像データの保存はパソコン内のHD）**

## 4. デジタルアーカイブの取り組み(2)

### 経過 その2

- 1999年～ **古地図ポータルサイト「貴重資料高精細デジタルアーカイブ」**を附属図書館HPに掲載、高速インターネット・ブラウジングソフトMADOを用いて**高精細画像データ・書誌情報をネット公開**
- 2004年～ 「高精細画像（ZOOMA画像）」で大容量データを配信開始／Web上で高精細画像データのシームレスな拡大・縮小が可能
- 2015年～ 平成26年度公益財団法人図書館振興財団の助成により、**800dpi**で作成した伊能図高精細画像データ4点（**1点10GB前後**）を附属図書館HP「**伊能図学習システム**」上で**ネット公開**